

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	24	学校名	仙台市立高砂小学校	校長名	大河内 裕幸
------	----	-----	-----------	-----	--------

1 取組のタイトル、テーマ

みんなで高～「さ」支え合い ～「ご」こつこつと



2 取組の紹介

(1) 米作りと SDGs

5年生は、総合的な学習の時間に米づくりの体験や地域ゲストの話から、米づくりやSDGsについて関心を持ち課題を設定して探究活動を行い、これからの自分の生き方や社会のあり方について考えてきました。特に「SDGs」については、個人ごとにテーマを設定し調べ学習を進めました。「福祉に配慮した町の工夫」「再生エネルギーの種類とメリット・デメリット」「海洋プラスチックと海の生物」など様々なテーマが掲げられ、Google スライドなどを使って保護者参観授業で発表会をしました。



(2) 防災について学ぶ

4年生は、総合的な学習の時間で「防災」について学んできました。その中で「サバイバル飯づくり」にも取り組み、空き缶や牛乳パックなどの身近にあるものを使って米を炊くことができることに子供たちは驚いていました。災害が起きたときに、ガスや電気を使わなくても米を炊くことができるということを実践から学ぶことができました。

(3) 緑のカーテンづくり

環境学習の一環で、1階職員室前のベランダに毎年ヘチマを育て、緑のカーテンを作っています。これは、5年生理科の「花から実へ」の学習にも活用されています。緑のカーテンは特別支援学級でも作って、暑い夏に視覚的な涼しさを提供しました。



(4) 緑化・ボランティア委員会の取り組み

緑化・ボランティア委員会が、学校の花壇に季節に合わせた草花を植えて、子供たちや保護者・来校者に華やかさや潤いを与えてくれました。常に花が咲き、ゴミが落ちていない環境は子供たちの心を豊かにします。



(5) 巻心を集めて緑の地球を守ろう

ニチバン巻心E00プロジェクトに今年も継続して取り組んでいます。子供たちが使い終わったセロハンテープの小さな巻心も、回収ボックスにどんどん集まっています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

学校では、学年に応じた環境教育を進め、地域の自然環境や地理的環境などを学び、その特性や環境を生かした緑化活動に取り組んできました。学校を草花できれいに飾り、見る人に心の潤いを与えています。学校園では野菜を育てて、その手間の大切さや難しさも学んでいます。環境が人の心を育てるといいますが、このような活動を通して、高砂小学校の子供たちには、自然を大切に作る心、環境を守ろうとする心、物を大切にしようとする心などが醸成されていることが感じられます。